

# もりのにぎわい通信

## 2012年6月23日 定例活動報告

日時：2012年6月23日（土）9：00～16：30

場所：小山町 観音地

天候：曇 気温 20～25℃ 湿度 68% 風向 南南東 風速 7m

参加者：36人：子供6人、大人30人（小山町・土地改良区13人）

### ■ 活動

9：00 除草作業開始、

9：45 受付開始、

自然観察・クイズ・ウォークラリー打合せ

10：00 テイピのセット、テント設営。

苗木に絡みついたクズの蔓切り

10：40 休憩

11：00 作業再開

スープの準備

12：00 集合写真

12：10 昼食（ソラマメの冷製スープ）

12：30 自然観察指導員と現地下見

13：15 自然観察ウォークラリー開始

16：00 後片付け

16：30 解散

### ■ 活動報告

6月には珍しい台風が来たり異常気象が続く今日この頃です。

台風の影響で雨天中止も覚悟しましたが、雨にはならずかなり涼しい風も吹き、作業には最適な天候となりました。

地元の方は、9時に集合して草刈の準備を開始。その後、3、4月に刈払機講習を受けた緑の環メンバー2名も草刈に挑戦しました。

6月に入って雑草の伸びがグンと速くなって、特にマツがある南側斜面はクズだらけになっていました。今回は参加人数も多く南斜面を中心に広範囲に草刈が出来ました。

昨年より雑草の伸びが速くなり、草刈も大変になりましたが、雑草による保水及び下刈りした草が肥料となり植樹した苗木の成長を促進し、森の復元には好都合です。

森もりあそび隊のお父さん・お母さんには、苗木に絡みついたクズの蔓切り・畑や千の苗プロジェクト

トの苗木の周りの草刈をお願いしました。クズの蔓きりは刈払機が使えず、骨が折れる作業ですが、サボるとあとの作業が大変になります。ご苦労様でした。

千の苗プロジェクトの苗木も2年目を過ぎ、かなり成長してきました。あと2年位で苗木として使用できそうです。

森の復元も序々に進んで来たのか、今日はノウサギ、キジ、マムシを見ました。10月頃までは、マムシには注意した方が良さそうです。

昼は、畑で採れたそら豆の冷製スープでした。バターで炒めたタマネギと粉碎したそら豆を混ぜ、冷蔵にて保存し、当日牛乳と混ぜて作るスープで手間隙のかかるものです。バターで炒めたタマネギが甘さとコクを出し大変美味しく頂きました。

### ★自然観察会とクイズ・ウォークラリー

午後からは、千葉県自然観察指導員の武田さん、川北さんによる自然観察会とクイズを交えたウォークラリーです。

観察した動植物は、**キキョウソウ**：花が段々に咲いて、種は、ビーナスの窓と言われる小さな窓が1~18分かけて開きそこから外に出るのだそうです。なんとも神秘的な植物です。

**マツボックリ**：大きさと年齢が違うことやマツの樹の年齢は牙鱗痕の数で分かる。近くに松の樹の赤ちゃんを発見。**ヤマハギ**：葉っぱを食べた犯人捜し・・・。**コフキゾウムシ**：ヤマハギやクズの葉っぱを食べる犯人をカップレンズに入れて観察。**シモツケ**：バラ科、小さな花を観察、花びらが5枚ある。**ニホントカゲ**：カナヘビに似ている。**ナツアカネ**：秋になると雄は真っ赤になる。アキアカネと同じ赤トンボの仲間。**コナラ**：葉っぱでミミズクを作る。**クズ**：くずの葉鉄砲。上手く鳴らすにはコツがいる。

**クズノチビタマムシ**：ヤマハギやクズの葉っぱの真中を食べる虫。**アマガエル**：鼻から耳にかけて黒い線が入る。シュレーゲルアオガエルにはない。アマガエルには吸盤があるが、ニホンアカガエルにはない。**ブタナ**：かわいそうな名前の外来種。キク科おしべとめしべが一体。**クリ**：丸いめしべ紐のように伸びたおしべを観察。**オカトラノオ**：群落となっている。名前のごとく、白い小さな花がトラの尾っぽのようだ。**ヤハズソウ**：葉っぱを引っ張ると矢羽模様になる。

普段は気づきませんが、観察指導員の武田さん、川北さんに詳しく教えてもらい跡地にもいろいろな植物・昆虫がいることが分かりました。最後にビンゴの数とクイズの点数により飴をもらっていました。

また、和田さんのネイチャービンゴ・クイズの資料に押しあつた手作りスタンプが、よく出来ていて観察会終了後も好評でした。事前準備を含め皆さんお疲れ様でした。

(記録：星野正人)

### ■ 森もりあそび隊

#### クイズラリーとネイチャービンゴ

午後からの自然観察会の中で子どもたちに楽しみながら小山町の森の自然を知ってもらおうとクイズラリーとネイチャービンゴをやりました。

クイズラリーは簡単なボーナスクイズから専門的な問題まで3択のクイズ5問とネイチャービンゴは9マスの中に子ども自身が発見できそうな生き物や植物を9種類ハンコで押したものを用意し、見つけたものに○をつけてたくさんビンゴを作ろうというものです。

9マスの中には千葉県のキャラクター犬のチーバ君の絵もあり、すかさずにその絵を見つけた子どもたちが“いるわけがない！！”と主張・・・(その反応待ってました♪)

そこで大人の一人が、森に15分後に来てもらうようにチーバ君に頼んでであると説明。疑いながらも少し信じてわくわくしている子ども達(だましてごめんね・・・でもどこかで見つかるようにしてあるんだよと・・・心の中)。

頑張ったら子どもたちはごほうび(キャンディー)がもらえると聞いて1問目の松ぼっくりのチャレンジ:5個集めようという指示に張り切っている様子。

3問目の被ばくアオギリ二世の種はどこからきたかという質問は知らない子が多く、これからも必要なクイズになるかなと思いました。アオギリの葉を色鉛筆で紙にこすって形をうつすチャレンジコーナーは大人気で何枚も色をかえてうつしていました

バードウォッチングの練習になるのではと思って考えた4問目のツリーハウスから双眼鏡でのぞいてビニールハウスに貼っている絵はなにか選ぶ問題でようやくチーバ君登場。期待外れだったかな・・・

予定より長く時間がかかってしまい後半子どもたちは疲れている感じでしたが、最後までよく頑張りました。

### のうさぎ現る

午前の刈払機による作業が終わりにちかづいたころ、作業にはいっていた古木さんからへびとうさぎが千の苗の方にいるとの情報がいってきました。子どもたちはへびという言葉にすこし不安もあったようですが、ここの森でいままで一度もみたことのないうさぎにかなり惹かれるらしく偵察にいきました。すると意外と近くにいることがわかり、そばで見たい一心でうさぎを追いかける感じになってしまいました。逃げ惑ううさぎ、追っかけまわす子ども達。最後には大人たちから遠くからそっと観察するようにいわれて追いかけては終了。

のうさぎを目にすることはなかなかないのですが、子どもたちに追いかけてびっくりしたのかあわてて人がたくさんいる方に逃げてきてしまって(体はちいさめのかわいい茶色うさぎでした・・・子どもだったかな)たくさんの方がうさぎを近くで見ることができました。

あとから少し離れたところに体の大きなうさぎがいたとのこと、お母さんうさぎ?・・・心配だったことでしょう。驚かせちゃったけど、また遊びに来てほしいな。

(記録:和田みさ子)

.....

### ■ お知らせ ホームページもご覧下さい→ <http://www.g-cycle.org/>

次回の定例活動は、7月28日(土)(雨天7月29日(日))除草作業、県環境学習アドバイザーの横田耕明先生にご指導して頂き池の改修・整備を行なう予定です。(池の生き物を捕獲して水中ポンプで池の水を汲み出し赤土粘土を貼り付ける作業)おそらく梅雨も明けて真夏の作業となりますが、是非、ご協力をお願いします。



トラックで集合写真



除草作業の準備



ユナラ・クヌギの苗床の除草作業



クズを刈るのも一苦労



青々としたサツマイモ畑



池に何かいる？



ティピは、森のシンボル



ティピの中でクイズの出題を待つ



同級生3人組み



お昼のひと時



観察会の用意



指導員の武田さんと川北さん



キキョウソウ (ミロのビーナス探せたかなあ?)





ナツアカネ



シモツケ (小さな花が集まっている)



池のスイレン、コウホネ、古代米



クイズの出題



アオギリの写し絵



最後の問題



クイズの答え合わせ